

はじめの一步①

8月4日(金) ~ 8月5日(土)

I N 明石市立少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設までハイキング	野外炊飯	キャンドルファイヤー
2日目	朝食づくり・海遊び	清掃・下山・解散	

一日目： おはようございます！それぞれの集合場所から電車を乗り継ぎ、施設まで向かいました。最寄り駅からは、暑さと荷物の重さに弱音を吐きながらも頑張っ
て歩きました。施設に到着し、美味しいお弁当を食べ、元気とやる気を取り戻すと、
広場で友達と走り回っておられました。入所式後は、野外炊飯、キャンドルファイヤーと
楽しみなプログラムが続きます。今回の野外炊飯のメニューはカレーです。野菜を切る『
野菜係』と、火をおこす『かまど係』に分かれ、作り進めていきました。野菜係はピーラーと包丁を使い、固いニンジン、ココロコ
コ転がるジャガイモ、涙が出るタマネギを慎重に切り分けていきました。猫の手を意識しながら上手に切っておられました。かまど係は燃料となる薪を組むところから挑戦しました。火の熱気で汗をかき、煙で目が痛くなる事もありましたが、交代で風を送り、強い火をおこす事ができました。カレーのいい匂いがしてきた頃に雨が降り始めました。一時は作業を中断しましたが、すぐに雨は止み、カレー作りが再開しました。疲れた様子も見受けられましたが、完成した嬉しさとカレーの美味しさに思わず笑みがこぼれていました。キャンドルファイヤーは短い時間ながらも、ゲームやダンスに大盛り上がりでした。入浴後、布団に入るとすぐに夢の中でした。



二日目： 起床のチャイムと共に、元気な笑い声が聞こえてきました。朝のつどいで更に目を覚まし、荷物整理と部屋の清掃をしました。友達と協力してシーツや布団をたたみ、荷物を運び出した後、朝食のホットドックづくりをしました。具材を挟んだパンをアルミホイルで包み、牛乳パックに入れ、パックを燃やして中のパンを温めます。手際よく作業を進め、美味しそうなホットドックが完成しました。ホットドックを口いっぱい頬張り、とても満足そうでした。食べ終わったグループから廊下や階段、お風呂場などの共有スペースの清掃に取り掛かり、隅々まできれいにしておられました。そして、待ちに待った海遊びの時間になりました。ライフジャケットを借り、列になって海遊びの場所へ出発しました。海が見えてくると、自然と笑顔になり、歩くスピードも速くなりました。準備体操後、一目散に海へと走り、気持ちよさそうに泳いでおられました。海に慣れていないメンバーは「しょっぱい！」と言いながらも、海に浮かぶ海藻を集めたり、砂のダムをつくったりと、思い思いに楽しみました。時間ギリギリまで海遊びを楽しみ、皆で記念写真を撮り、海を後にしました。昼食の素麺をペロリと平らげ、施設を出発しました。帰りの道のりでは、やはり疲れが見られましたが、それと同じくらい「頑張りたい！」という気持ちが強く、汗をかきながら最後まで懸命に頑張りました。



<キャンプ総括>

昨年度から始まった年中から参加できる夏キャンプ。今年は明石市立少年自然の家へ場所を移し行いました。二日間の中で静かだったのは就寝時だけと言っても過言ではない程、エネルギーに溢れ、それぞれのプログラムを存分に楽しんでおられました。プログラム以外にも、セミやバッタなどの生き物を探したり、グループで鬼ごっこをしたりと、常に楽しいこと求めて動き回っておられました。自分とまわりとの楽しみ方の違いに戸惑う姿や、家族と離れた寂しさを思い出す姿もありましたが、感情を言葉や涙にしなごら、自分の気持ちに折り合いをつけておられました。「まだ頑張る！」と、もう一度向かっていく姿はとても遅く、大きく見えました。(生本 ひろみ)